

平成28年度学校評価アンケート結果(職員)

分野	評価の観点	番号	評価項目	評価	
学校運営	学校運営全般	1	教育目標に沿って教育活動を進め、適宜、取組みについて評価・見直しを行いながら、その成果を挙げる。	2.7	B
		2	各部・学年・学科の連携を図り、校務分掌が組織的に機能している。	2.5	B
	開かれた学校づくり	3	新聞・(ケーブル)テレビ・広報誌等のメディアを利用した広報活動と同時に、HPや学年通信等により、情報発信を積極的に行う。	2.8	B
		4	学校評議員会を開催し、学校評議員から意見を広く聴取し、それを学校運営に役立てる。	3.1	B
		5	高校生ふるさと貢献活動事業や学校行事等、教育活動を通じて地域との連携を図る。	3.4	A
	教職員の資質向上	6	学校の諸課題について校内研修を計画的に立案・実施し、専門性の向上を図る。	2.7	B
		7	校内外の研修や研究授業・生徒による授業評価アンケート等の実施により、魅力ある授業に向けた実践的指導力の向上に努めている。	2.6	B
教育課程	個に応じた学習指導	8	様々なニーズや学力差に対応し、習熟度別授業や少人数指導を実施し、個性や能力の伸長を目指す。	3.0	B
	特色ある教育課程	9	学校設定科目や総合的な学習の時間により、特色を生かした教育を展開する。	2.9	B
	情報教育	10	情報モラルの育成を進めるとともに、情報機器を適切に活用する力を高めている。	2.6	B
	伝統と文化に関する教育	11	優れた芸術を鑑賞したり、日本の歴史・文化に関する学習の機会が充実し、豊かな感性や情操を培っている。	2.7	B
	体験活動の充実	12	福祉体験やボランティア活動の充実により、自立心と協同性を培う学習活動の展開を工夫している。	3.2	B
生徒指導	共通理解と指導の統一	13	年度当初に生徒指導方針を明確に職員・生徒に示し、校内の連携を基に全職員の共通理解を深めている。	2.8	B
	生徒指導体制の充実	14	登校指導・連絡会議等、保護者・地域・警察・小中学校・青少年を育てる会等と連携した生徒指導を継続する。	3.2	B
		15	生徒の内面理解に基づく生徒指導を実践している。	2.8	B
	基本的生活習慣の確立	16	挨拶の励行やルール・マナーの遵守について、徹底して継続的に指導している。	3.0	B
	人権教育の充実	17	いじめや人権侵害について早期発見・早期対応を図り、毅然とした適切な対応に努めている。	3.0	B
	特別活動の充実	18	部活動や生徒会活動、ホームルーム活動が活発に行われている。	2.9	B
進路指導	進路指導体制の構築	19	進路指導に係る資料を全職員に配布する等、共通理解と校内指導体制の充実を図っている。	2.8	B
		20	PTAや同窓会、外部関係機関等と連携し、合同模擬面接を実施し、生徒の進路意識の向上を図る。	3.2	B
	進路指導体制の充実	21	看護体験・就業体験等、人や社会と関わる活動を通して、職業観・勤労観の育成を図っている。	3.3	A
		22	補習や進路説明会等の計画・実施により、進路実現に向けて積極的に取り組む体制が充実している。	3.1	B
保健・安全管理	健康教育	23	性教育、禁煙・薬物乱用防止教育等、発達段階に応じた健康教育により、健康意識と自己管理能力を高める。	3.1	B
	教育相談	24	日常的な相談活動や定期的なキャンパスカウンセリング・生徒支援委員会等を通して、適切で適時の相談活動を展開している。	3.0	B
	防災・安全教育	25	防災訓練等を通して不審者対応・防災マニュアルによる対応の徹底を図る。	3.0	B

評価基準 1:できていない 2:あまりできていない 3:できている 4:よくできている  
 評価 A:3.3以上 B:2.5以上 C:2.0以上 D:2.0未満